

千葉市政担当記者 様

平成 29 年 4 月 11 日  
都市局公園緑地部動物公園  
電話 252-7566

※恩賜上野動物園と同時発表

## ニシゴリラ「モモコ」の妊娠について

千葉市動物公園から恩賜上野動物園へ共同繁殖（ブリーディングローン）のために貸し出している、ニシゴリラ「モモコ」が、5 頭目の子どもを妊娠しましたので、お知らせします。  
なお、今回誕生した赤ちゃんは、上野動物園の所有になります。

### 1 出産予定日

平成 29 年 9 月下旬から 10 月中旬頃

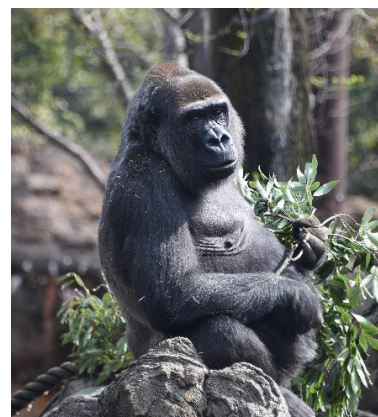
### 2 両親

母親 モモコ 33 歳

1983 年 6 月 3 日	スペイン生まれ
1990 年 3 月 29 日	千葉市動物公園へ来園
1999 年 7 月 27 日	上野動物園へ繁殖貸与
2000 年 7 月 3 日	モモタロウ（オス・第 1 子）を出産
2002 年 7 月 8 日	千葉市動物公園へ帰園
2008 年 12 月 2 日	上野動物園へ繁殖貸与
2009 年 11 月 14 日	コモモ（メス・第 2 子）出産
2013 年 4 月 24 日	モモカ（メス・第 3 子）出産
2016 年 10 月 12 日	出産（子は死亡）

父親 ハオコ 23 歳

1993 年 8 月 21 日	オランダ生まれ
1996 年 12 月 6 日	オーストラリア・タロンガ動物園に来園
2007 年 6 月 27 日	上野動物園へ来園



【モモコ】※恩賜上野動物園提供

### 3 妊娠経過

平成 29 年 1 月中旬、上野でオスの「ハオコ」と複数回の交尾やマウントが確認されました。妊娠の指標となる尿中ホルモンを検査したところ、2 月 14 日に採尿したサンプルの結果から、妊娠と判定しました。妊娠の影響からか、2 月中旬以降、モモコには偏食や水を飲む量が増加するなどの体調変化が見られます。

#### 4 当園での飼育状況

飼育総数 2頭（オス1頭、メス1頭）

- ・オス 「モンタ」 33歳 1990年3月29日、モモコと同時に来園
- ・メス 「ローラ」 40歳 2008年12月8日来園

#### 5 当園所有のゴリラの飼育園館

- ・オス 「モンタ」 千葉市動物公園
- 「モモタロウ」 京都市動物園へ繁殖貸与中
- 「ゲンタロウ」 京都市動物園で誕生
- ・メス 「モモコ」 東京都恩賜上野動物園へ繁殖貸与中
- 「モモカ」 東京都恩賜上野動物園で誕生

#### 6 モモコ出産における当園の係わりについて

妊娠が確認されて以降、モモコの健康状態などの情報を共有してきました。

上野は、「群れ」の中での自然分娩を目指していることから、母子の安全策や難産対策も踏まえ、予想し得る万全の態勢が取られています。千葉はモモコの所有園館として、数少ない出産事例へ直接参加することで、今後の飼育技術の向上を図るため、担当職員が出張し協力する予定です。

#### ニシゴリラ（霊長目 ヒト科）

(1) 学名 *Gorilla gorilla gorilla*

(2) 大きさ 頭胴長 150～170cm 体重 90～180kg

(3) 分布 コンゴ、ガボン、カメルーン等の熱帯雨林に生息

(4) 生態等 体色は黒が基本であるが、褐色や灰色がかっていることが多く、オスは頭の毛が赤茶色の個体が多い。成獣のオスは背中から太ももにかけて体毛が白くなる「シルバーバック」になる。

シルバーバック1頭にメス数頭と子供たちからなる10頭前後の群れで生活している。草木のほか、果物、昆虫も食べる。西アフリカで20万頭以下が生息していると推測されているが、環境破壊、病気、狩猟で減少の危機さらされている。

(5) 国内飼育状況等（平成28年12月31日現在）

飼育園数 7園 オス9頭 メス11頭 計20頭

なお、国内における出産事例は少なく、平成27年12月31日までに国内で誕生したのは、全15頭のみとなっている。

※出典：公益社団法人日本動物園水族館協会 2016年ニシゴリラ国内血統登録台帳

## 《参考》

### \* 繁殖の過程

ゴリラのメスはおよそ 7 歳で性成熟し、野生での初産は 10 歳前後が普通。妊娠期間は約 8.5 か月と報告されている。出産間隔は 4 年で、寿命は 40～50 年であり、生涯に 2～6 頭出産する。新生児の体重は、約 2kg、9 週齢でハイハイをし、30～40 週齢で歩き始め、2.5～3 歳で離乳する。

### \* ブリーディングローンについて

繁殖を目的とした動物の貸借契約のことで、動物園間で動物を移動させることにより新たなペア形成を促し、繁殖に寄与する目的で行う。